

# 試験結果報告書

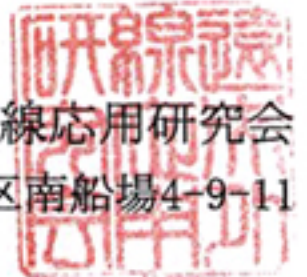
No. 203G- 178

平成 15 年 11 月 25 日

株式会社 ホロン 殿

遠赤外線応用研究会

〒542-0081 大阪府中央区南船場4-9-11



試 料 プロイセン

測 定

健常な成年女子(32才)を被験者とし、椅子に腰掛けた状態で10分間安静状態を保った後、コントロール(未使用)にて20分間の血流量の変化をレーザードップラー血流計にて測定した。10分休憩の後、プロイセンも同様に、20分間の血流量の変化を測定した。

結果及び考察

レーザードップラー血流計にて測定したデータは、血流量変化グラフと共にコンピューター処理により、血流速度、血流量のそれぞれの数値として示される。

別表に、血流速度、血流量の測定値を示す。

コントロール(未使用)に対するプロイセン使用時の血流速度、血流量の変化率は、

	コントロール 対 プロイセン	
	変化率	
血流速度	1.16 倍	( 16 %の増加 )
血 流 量	1.08 倍	( 8 %の増加 )

となり、プロイセンを使用した場合は、コントロール(未使用)に比較して、血流増加の効果が認められる。